

第 8 次山口県保健医療計画 中間評価・見直し（素案）の概要

第 1 部 趣旨

第 1 章 中間評価・見直しの趣旨

- 山口県保健医療計画（令和 6 年度～令和 11 年度）では 3 年ごとに調査、分析及び評価し、必要に応じ計画を見直すこととされている。
- このことから、数値目標により現在の進捗状況を把握するとともに、在宅医療その他必要な事項について見直しを行う。

第 2 章 計画策定後の主な動き

- 本計画は、医療法第 30 条の 4 第 1 項の規定に基づく医療計画
- 県の関連分野の計画策定・改定等との整合を図る必要がある（医師確保計画、外来医療計画、高齢者プラン 等）

第 2 部 中間評価・見直し

第 1 編 総論

第 1 章 評価・見直しの考え方

- 疾病・事業ごとの指標及び数値目標により、進捗状況を把握。
- 進捗状況が「達成」の指標や目標年次を迎える指標は再検討。
- その他、保健・医療に係る状況の変化に応じ、指標を追加・見直し。

第 2 章 数値目標の現状

|              |            |
|--------------|------------|
| 目標112項目中「達成」 | 41項目 (36%) |
| 「改善」         | 33項目 (30%) |
| 「維持・後退」      | 12項目 (11%) |
| 「その他」        | 26項目 (23%) |

第 2 編 基準病床数

- 「精神病床」の算定においては、見直しを行う。  
[現行]4,727 床 [見直し後]4,077 床

第 3 編 5 疾病

第 1 章 がん【第 4 期山口県がん対策推進計画】

- 数値目標の現状（主なもの）
  - がん年齢調整死亡率は長期的な低下傾向を維持。
  - がん検診受診率はすべての区分において数値が改善。女性は全国平均として比較しても依然として低い。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - がん検診受診率を更に向上させる取組。
  - 2040 年に向けて、適切ながん医療を受けることができるよう持続可能ながん医療提供体制の検討。 等
- 見直し後の目標設定
  - 現在の目標を引き続き設定。

第 2 章 脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患

【第 2 期山口県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進計画】

- 数値目標の現状（主なもの）
  - 高血圧の人の割合、LDL コレステロール値が高い人の割合は改善傾向。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - 生活習慣病等の予防に関する取組の強化。 等
- 見直し後の目標設定
  - 国の「第 2 期循環器病対策推進基本計画」等を踏まえ、下記目標等を変更・追加。

追加した目標

|                               |                       |                        |
|-------------------------------|-----------------------|------------------------|
| 新脳梗塞に対する t-PA による血栓溶解療法の実施率   | 基準値<br>6.8%<br>(R5 年) | 目標値<br>7.0%<br>(R10 年) |
| 新脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数(人口 10 万対) | 15.8件<br>(R5年)        | 16.0件<br>(R10年)        |
| 新救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間   | 保健医療圏ごとの実績時間<br>(R2年) | 減らす<br>(R10年)          |

第 3 章 糖尿病

- 数値目標の現状（主なもの）
  - 糖尿病有病者割合、年間新規透析導入患者数は改善。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - 糖尿病の発症予防、重症化予防についての取組推進。 等
- 目標設定
  - 現在の目標を引き続き設定。

第 4 章 精神疾患

- 数値目標の現状（主なもの）
  - 長期在院者数は一定の進捗が見られるが、退院後 1 年以内の地域における平均生活日数は改善が認められない。
  - 認知症サポーター養成数は概ね順調に推移。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - 退院後に地域で安心して生活できるような支援体制の構築。
  - 認知症サポーター等による支援チームによる支援。 等
- 目標設定
  - 一部目標を修正。

第 4 編 6 事業

第 1 章 救急医療

- 数値目標の現状
  - 救急搬送患者数のうち軽症者の割合は改善、救命講習受講者数の割合も順調に推移。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - 救急医療機関の適正受診の呼びかけ。
  - 救命講習等を通じた AED 使用方法の周知。 等
- 目標設定
  - 現在の目標を引き続き設定。

第 2 章 災害医療

- 数値目標の現状
  - EMIS への医療機関情報の入力率、災害医療コーディネーター数や県による災害訓練実施回数は順調に推移。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - EMIS への医療機関情報の入力率の向上、災害医療コーディネーターの確保や災害訓練の継続実施。 等
- 目標設定
  - 一部目標を修正。

第 3 章 新興感染症医療

- 数値目標の現状（主なもの）
  - 第一種協定指定医療機関（入院）の確保病床数等順調に推移。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - 医療機関との協定締結の推進 等

- 目標設定
  - 現在の目標を引き続き設定。

第 4 章 へき地医療

- 数値目標の現状（主なもの）
  - へき地で勤務する総合診療専門研修プログラム専攻医数は増加。
  - 巡回診療・医師派遣・代診医派遣の年間実績が合算で 12 回以上の医療機関の割合は順調に推移。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - へき地医療拠点病院の機能強化、遠隔医療の拡充と医療資源の効果的な活用 等
- 目標設定
  - 現在の目標を引き続き設定。

第 5 章 周産期医療

- 数値目標の現状
  - 周産期死亡率は概ね全国平均並み。
  - 院内助産師及び助産師外来の設置数は順調に推移。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - 総合周産期母子医療センターへの症例の集約化や、転院搬送について検討 等
- 目標設定
  - 現在の目標を引き続き設定。

第 6 章 小児医療

- 数値目標の現状（主なもの）
  - 時間外外来受診回数等は順調に推移。
  - 保護者を対象とした講習会受講者数は大幅減少。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - 適正受診に関する取組を推進 等
- 目標設定
  - 現在の目標を引き続き設定。

第 5 編 在宅医療

- 数値目標の現状（主なもの）
  - 在宅療養後方支援病院数、訪問看護ステーション数は順調に増。
  - 訪問診療を行う医療機関数は改善しているが進捗に遅れ。
- 今後目指すべき方向（取組事項）
  - 今後の需要増に備えた在宅医療機関の拡大や多職種連携の取組 等
- 目標設定
  - 現在の目標を引き続き設定。

第 6 編 外来医療

- 最新の外来医師偏在指標に基づく外来医師多数区域の見直し及び地域外来医療の位置づけ。

第 3 部 地域の保健医療を担う人材の確保と資質の向上

第 1 章 医師【山口県医師確保計画】

- 各種指標・目標の更新。
- 医師偏在是正プランの策定。 等

## 第8次山口県保健医療計画 中間評価・見直し（素案）の概要

